

最近実施した研修について

今般 JTEC では、APT*から受託した以下の 2 件の研修を実施しました。

1. 「Good Governance 実現のためのナショナル・データベースの構築技術」研修 (APT Training Course on “Implementation Technology of National Database to Realize Good Governance”) : 2011 年 2 月 24 日から 3 月 2 日 (1 週間)

<<本研修実施の目的>> 発展途上国では、自国民を個のレベルで正確にかつ真正に把握することは、人間の安全保障を確立するための基幹となる事項となっています。また民主化を進めるための選挙、国民 ID・パスポートの発行や社会保障などにおいても同一人の 2 重・3 重の登録・発行や逆に登録漏れなどにより公平な選挙や社会保障が期待できない状況が発生し社会問題化しています。一方、わが国 ICT 産業の強みとして、超大規模データベース・システムの開発運用実績、バイオメトリクスによる個人認証技術・製品は世界最高水準にあることなどから、ある国の根幹となる国民に関する根幹的なナショナル・データベース整備に貢献することが期待されます。結果として、このデータベースを活用したその国の Good Governance 実現の基盤整備に大いに貢献できると思われまます。今般の研修では、講義、見学、討論・意見交換などをおして、わが国の最先端技術の一端を習得してもらうことを目的としました。

同研修には、アフガニスタン、バングラデシュ、ブータン、カンボジア、中国、モンゴル、ネパール、パキスタン、スリランカ、タイ、ベトナムの 11 ヶ国の電気通信主管庁、事業体、ICT 関係、国民登録を所掌する機関などから 11 名の技術者が参加しました。

2. 「ブロードバンドを活用した災害対策の強化」研修 (APT Training Course on “Strengthening of Disaster Prevention Measures Using Broadband Communications”) : 2011 年 2 月 28 日から 3 月 14 日 (2 週間)

<<本研修実施の目的>> 日本における情報通信を活用した災害対策への取り組みや、関係する中央省庁・地方自治体の機関、通信キャリア、放送機関、メーカーなどにおいて開発、運用されている最新技術を用いた防災通信システム、観測システムをつぶさに見てもらおうとともに講義、発表、討論をおしてアジア太平洋諸国の関係技術者に十分に理解をしてもらい、もって、この地域における防災に係わる通信体制の整備および災害時の円滑な通信の確保を担い得る人材を育成することを目的としました。

同研修には、バングラデシュ、ブータン、カンボジア、中国、インド、モンゴル、ミャンマー、ネパール、パキスタン、スリランカ、タイ、ベトナムの 12 ヶ国の電気通信主管庁、事業体、ICT 関係、防災に係わる機関などから 12 名の技術者が参加しました。

当研修は本来 3 週間の予定で実施中でしたが、2 週目の終わりにあたる 3 月 11 日に起こった東日本大震災およびその後の影響のため最終週を残して中止となりました。しかしながら、参加研修員たちは、TV の画面などをおして地震や津波の観測・警報システムやその報道、周知などの実際を体験することとなりました。

* APT : Asia-Pacific Telecommunity アジア太平洋電気通信共同体

1979 年に設立されたアジア・太平洋地域の電気通信の開発促進および地域電気通信の整備・拡充を主目的とした政府間国際機関。日本をはじめ加盟国 36 ヶ国、準加盟 4 地域、賛成加盟員として各国から 122 の電気通信事業体が参加。セミナーの開催、調査研究、専門家の派遣、研修などを主な活動としている。本部はバンコク。